



その2 ^{みどり} 緑 ^{あお} なのに ^{にほんご} 青? ^{かく} 日本語に ^{いろ} 隠れている ^{いみ} 色の意味



今回は日本語で使われる色についてその意味を紹介していきます。まずは、赤。様々なイメージがありますが、「真っ赤な嘘」「赤の他人」などの言葉に入っている赤は「明らかな」「完全な」といった意味があります。次は、青です。「君はまだまだ青いね」という日本語がありますが、これは顔の色を言っているわけではありません。これは「未熟」という意味なので「君はまだ若々しいね、未熟だね」と変換することができます。「未熟」という意味から、緑色でも若々しい葉っぱのことを「青葉」といったり、木々が生い茂っているところは「青々としている」

参考：日本語検定公式サイト「真っ赤な嘘と白い嘘、どっちが罪深い？」
シルバーギア「シルバー＝高齢者は日本だけ!? 語源は意外な乗り物にあり！」

と表現したりすることがあります。最後は、シルバー（銀）です。日本でシルバーは「高齢者」を意味する場合があります。昔、国鉄が高齢者への新しいサービスとして高齢者専用の席を作る際、その席に新幹線で使われていたシルバーの生地を使用したことから、シルバー＝高齢者という認識が広がりました。

今回紹介した色以外にも、日本ならではの意味を持つ色がたくさんあります。普段の会話の中で色を探してみるのも面白いかもしれませぬ。

